



2021年4月26日
東日本旅客鉄道株式会社
八王子支社

「2021年度東日本鉄道文化財団地方文化事業支援」について

JR東日本八王子支社では、支社管内の貴重な文化遺産や伝統芸能などの保全と継承を図るため、公益財団法人東日本鉄道文化財団を通して支援を行っています。

2021年度は東京都青梅市の「山車人形『武内宿禰』修復事業」、山梨県甲府市の「木造薬師十二神将像修理事業」、山梨県北杜市の「台原家住宅修復事業」について支援を行うことが決定しましたのでお知らせします。

1 東京（多摩）エリアの支援事業

山車人形『武内宿禰』修復事業【東京都青梅市】

森下町自治会所有の山車人形「武内宿禰」は、青梅市有形民俗文化財です。神功皇后（古墳時代）の重臣である「武内宿禰」が軍船に乗り、躍動感あふれる姿を現したもので、江戸時代の末期に製作されたと考えられています。

明治末期までは春の例大祭で山車の上に人形を載せて巡行していました。現在は、毎年5月の青梅大祭時に、町内祭典事務所人形場にて、人形、蟠龍飾幕（ばんりゅうかざりまく）、高欄（こうらん）及び錦の御旗（にしきのみはた）を展示しています。

江戸文化の一端を広く世に伝えるため、鎧1領の修理を行います。傷んだ箇所を修復し、現在の状態を可能なかぎり保持することで、実用的な強度・見栄えを復活させます。



青梅大祭で使用された山車人形「武内宿禰」



修理を行う鎧の一部

2 山梨エリアの支援事業

もくぞうやくしじゅうにしんしょうぞう

木造薬師十二神将像修理事業【山梨県甲府市】

木造薬師十二神将像は薬師如来を守護する十二の神で、鎌倉時代に作成された山梨県指定文化財で、東光寺仏殿に安置されています。汚れ、彩色の剥落、部材の欠損など傷みが顕著なため修理を行います。

全十二軀あるうちの二軀、戌神の伐折羅（バサラ）、亥神の宮毘羅（クビラ）を修理します。文化財としての価値を後世に伝え、さらに今後展示等の活用を目指しています。



今回修理をする戌神・亥神の二軀

台原家住宅 修復事業【山梨県北杜市】

江戸時代中期に建立された台原家住宅は当地方の建築様式を用いた板葺上層古民家であり、北杜市指定文化財です。

江戸後期からは診療所や寺子屋としても活用され、賑わいを見せたであろう甲州街道台ヶ原宿の歴史の中でも、重要な役割を担ってきた建造物です。

全体として保存状態が良好ではありますが、文化財として長きに渡り保存するために、今回は汚れや剥落が心配される玄関周りの漆喰壁、損傷が見られる板壁の修繕を行います。



修理を行う玄関周り